

教科：（ 工業・グラフィックアーツ ） 科目：（ 工業技術基礎 ）

単位数：（ 3 ） 単位

対象：（ 第 1 学年グラフィックアーツ科 ）

教科担当者：

使用教科書：（ 工業技術基礎 実教 ）

使用教材：（ プリント、印刷メディアディレクション ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
5月	☆ガイダンス 1パート 【端物印刷物の制作－タイポグラフィの基礎】	○工業技術基礎について（実習の心得） ○端物印刷物の制作（タイポグラフィ基礎） ・編集レイアウトについて ・編集レイアウトソフトの基礎 ・編集レイアウトソフトによる端物印刷物制作		11
6月	1パート 【端物印刷物の制作－タイポグラフィの基礎】	○端物印刷物の制作（タイポグラフィ基礎） ・編集レイアウトソフトによる端物印刷物制作 ・校正・修正、プリント出力	新学習指導要領における3観点による授業評価を行う  知識・技能（制作過程・仕上がり・作品） ●作品の仕上がり状態 ●PCソフトや制作機器・用具類の操作における理解力と知識・技能 ●作品の技術的完成度（配置、バランス、色、美しさ、画像処理、作品の作り込み、再現性）	10
7月	1パート 【端物印刷物の制作－タイポグラフィの基礎】	○端物印刷物の制作（タイポグラフィ基礎） ・プレゼンテーション	思考・判断・表現（思考した行動・工夫・創造・発想） ●テーマに対する理解力（テーマと課題内容が適切か等）、プレゼン説明力 ●アイデアや発想力と課題作品の完成度 ●課題作品の視覚表現力（意図した表現性、他者への共感性や説明力・説得力）	5
8月			主体的に学習に取り組む態度（授業態度・協調性・主体的な思考・提出など） ●難易度の高い制作取り組みや積極性（制作に関する向上心などの意思と意欲） ●集中力や粘り強さ（継続力） ●その他：アイデア等の事前準備、プレゼンの有無、レポート提出の有無、レポートの丁寧さやレポート内容、授業態度など	
9月	2パート 【平面構成】 ・製図道具の使い方と線の練習 ・色彩の基礎 ・平塗りの練習	○練習課題内容 ・製図道具の正しい使い方 ・用途に合わせた美しい線を引き方 ・アクリルガッシュと絵具の周辺道具の使い方 ・平塗りの練習		8
10月	2パート 【平面構成】 ・作品制作	○作品制作 ・アイデアスケッチ ・カンパ制作 ・下書き ・マスキング ・平面構成着色 など		12
11月	2パート 【平面構成】 ・作品制作	○作品制作 ・平面構成着色 ・仕上げ ・まとめ		6
12月	3パート 【写真の基礎】	○写真の基礎 撮影 ・カメラの仕組み ・基本的な撮影技術 ・基本的なスタジオ照明		9
1月	3パート 【写真の基礎】	○写真の基礎 作品企画・制作 ・作品の企画 ・チームで協力してスタジオ撮影を実施		10
2月	3パート 【写真の基礎】	○写真の基礎 作品制作・まとめ ・写真作品の出力 ・プレゼンテーション		9
3月				

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（ 工業・グラフィックアーツ ） 科目：（ 工業情報数理 ）

単位数：（ 2 ）単位

対象：（ 第 1 学年グラフィックアーツ科 ）

教科担当者：

使用教科書：（ 工業情報数理 [実教出版] ）

使用教材：（ 自校作成教材：プリント・テキスト、いちばんやさしいITパスポート ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	授業概要の把握	ガイダンス・物品確認	【評価の観点】 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度	2
5月	<産業社会と情報活用> ・コンピュータの歴史、利用、情報表現	パソコン起動・準備 メール操作学習・AdobeIDの確認 ・illustratorの基礎操作 ・テクノロジ系（コンピュータシステム）	【評価方法】 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況 5. 出席状況	6
6月	<産業社会と情報活用> ・情報モラル、セキュリティ ・メディア表現制作、アプリ基本操作	・illustratorの基礎操作 ・テクノロジ系（コンピュータシステム）	等を総合的に考慮して評価を行う。	6
7月	<産業社会と情報活用> ・メディア表現制作、アプリ基本操作	・illustratorの基礎操作「課題1」 ・テクノロジ系（データベース、ネットワーク、セキュリティ）		2
8月				
9月	<産業社会と情報活用> ・メディア表現制作、アプリ基本操作	・illustratorの基礎操作「課題1」 ・テクノロジ系（情報デザイン・情報メディア）		4
10月	<情報活用・コンピュータシステム> ・ソフトウェア、OS、データベース、障害対策 ・メディア表現制作、アプリ基本操作	・illustratorの基礎操作「課題2」 ・テクノロジ系（情報デザイン・情報メディア）		4
11月	<情報活用・コンピュータシステム> ・ソフトウェア、OS、データベース、障害対策 ・メディア表現制作、アプリ基本操作	・illustratorの基礎操作「課題2」 ・テクノロジ系まとめ(小テスト)		6
12月	<数理処理・アルゴリズムとプログラム・ビジネス基礎（マーケティング）> ・進数、論理回路 ・単位、計測、数理処理	・illustratorの基礎操作「課題2」 ・テクノロジ系（基本理論・アルゴリズム・プログラム） ・マネジメント系（開発技術・プロジェクトマネジメント・サービスマネジメント）		2
1月	<数理処理・アルゴリズムとプログラム・ビジネス基礎（マーケティング）> ・プログラミン ・アルゴリズム	・illustratorの基礎操作「課題2」 ・テクノロジ系（基本理論・アルゴリズム・プログラム） ・マネジメント系（開発技術・プロジェクトマネジメント・サービスマネジメント）		6
2月	<数理処理・アルゴリズムとプログラム・ビジネス基礎（マーケティング）> ・制御プログラム ・マーケティング	・illustratorの基礎操作「課題2」 ・ストラテジ系（企業と法務・経営戦略・システム戦略）		4
3月	<数理処理・アルゴリズムとプログラム・ビジネス基礎（マーケティング）> ・情報のまとめ	・illustratorの基礎操作「課題2」 ・ストラテジ系（企業と法務・経営戦略・システム戦略） ・マネジメント系、ストラテジ系のまとめ（小テスト） ・工業数理、ビジネスITまとめ		2

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（ 工業・グラフィックアーツ ） 科目：（ グラフィックアーツA ）

単位数：（ 2 ）単位

対象：（ 第2学年グラフィックアーツ科 ）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（グラフィックデザイン検定問題集 ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	☆ガイダンス グラフィックアーツの基礎	ガイダンス 年間授業計画について グラフィックアーツの概要 1. グラフィックアーツの定義と目的 2. コミュニケーションの形成	〔評価の観点〕 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、調査、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度	5
5月	グラフィックアーツの基礎	2. コミュニケーションの形成 3. グラフィックアーツの歴史	〔評価方法〕 1. 授業に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 小テスト 4. 提出物状況 5. 出席状況	8
6月	グラフィックアーツの基礎	3. グラフィックアーツの歴史	等を総合的に考慮して評価を行う。 教員の話をしっかり聞いているか	8
7月	グラフィックアーツの基礎	グラフィックアーツとメディア 1. 印刷物制作の基礎知識 2. 視覚伝達とグラフィックデザイン	自ら積極的に取り組んでいるか（質問の有無、質問内容） 目的意識を持って努力する姿勢がみられるか（集中力・態度） 自ら率先して考える努力がみられるどうか	4
8月			課題に関する基本的な説明を理解しているか 制作作品の向上を目指し努力する姿勢がみられたか 作品評価	
9月	グラフィックアーツの基礎	グラフィックアーツとメディア 1. 印刷物制作の基礎知識 2. 視覚伝達とグラフィックデザイン	美しい構図や配色について理解し作品を表現する力があるかどうか アプリケーションソフトの基本操作を理解して、制作できるか	6
10月	グラフィックアーツの基礎	企画・マーケティング・デザイン 写真	練習問題の理解度、巡回&観察またはパソコン画面上 自分の作品と制作工程を振り返り、感想や反省をまとめることができたか。	6
11月	グラフィックアーツの基礎	写真製版 編集レイアウト	小テストによる理解度 課題制作の取組みと課題作品の評価など	8
12月	グラフィックアーツの基礎	印刷 仕上げ・製本		4
1月	グラフィックアーツの基礎	デジタル機器 記録メディア		6
2月	グラフィックアーツの基礎	アート・ヴィジュアル演習(ファイン) グラフィックデザイン演習(デザイン)		4
3月	グラフィックアーツの基礎	アート・ヴィジュアル演習(ファイン) グラフィックデザイン演習(デザイン)		4

教科：（ 工業・グラフィックアーツ ） 科目：（ グラフィックアーツ実習 ）

単位数：（ 4 ） 単位

対象：（ 第2学年グラフィックアーツ科 ）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ プリント、印刷メディアディレクション ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配時数
4月	ガイダンス パッケージデザイン制作	年間課題説明 年間を通して身につけるべき技術、知識について理解する。 パッケージデザイン制作 説明	[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度	8
5月	パッケージデザイン制作	Illustratorの使い方復習 コンセプトシート作成	[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況 5. 出席状況 等を総合的に考慮して評価を行う。	20
6月	パッケージデザイン制作 写真表現 Photoshop基礎	パッケージデザインアイデア検討 Illustratorによる制作 印刷・組立 完成 プレゼンテーション 課題内容説明	知識・技能（制作過程・仕上がりの作品） ●作品の仕上がりの状態 ●PCソフトや制作機器・用具類の操作における理解力と知識・技能 ●作品の技術的完成度（配置、バランス、色、美しさ、画像処理、作品の作り込み、再現性）	16
7月	写真表現 Photoshop基礎	課題「観光広告」 企画書作成 デザインベーシック コピーのワークショップ ポスターリサーチ	思考・判断・表現（思考した行動・工夫・創造・発想） ●テーマに対する理解力（テーマと課題内容が適切か等）、プレゼン説明力 ●アイデアや発想力と課題作品の完成度 ●課題作品の視覚表現力（意図した表現性、他者への共感性や説明力・説得力）	4
8月			主体的に学習に取り組む態度（授業態度・協調性・主体的な思考・提出など） ●難易度の高い制作取り組みや積極性（制作に関する向上心などの意思と意欲） ●集中力や粘り強さ（継続力） ●その他：アイデア等の事前準備、プレゼンの有無、レポート提出の有無、レポートの丁寧さやレポート内容、授業態度など	
9月	写真表現 Photoshop基礎	課題「観光広告」 一眼カメラによる撮影基礎 Photoshopの基礎・応用		12
10月	写真表現 Photoshop基礎 illustratorの応用	課題「観光広告」 Photoshopでのレタッチ illustratorでの作品制作 レポート		20
11月	リーフレットの作成	課題内容説明 In Designの機能やツールについて 課題説明 アイディア検討 アイデアを基にした編集レイアウトについて		16
12月	リーフレットの作成	編集レイアウト作成 In Design にやる制作		4
1月	リーフレットの作成	In Design にやる制作		12
2月	リーフレットの作成	In Design にやる制作 印刷 完成・プレゼンテーション		12
3月	リーフレットの作成	印刷 完成・プレゼンテーション		6

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（ 工業・グラフィックアート ） 科目：（ グラフィックアート製図 ）

単位数：（ 2 ）単位

対象：（ 第2年グラフィックアート科 ）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ プリント ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス 製図道具の使い方と線の練習	・製図道具の扱い方 ・溝引き・鳥口の練習 ・アクリルガッシュの特徴と扱い方	[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、主体的な作業の取り組み、基本的な技術の習得、課題の提出状況、作品の完成度などを総合的に判断し、3観点により評価をする。  ・知識・技能 道具、画材について基礎的な知識を持ち、正しく使用することができる 基本的な観察力、描写力や表現力が身につけている  ・思考・判断・表現 美しい構図、配色について追求し表現を工夫することができる物の形や空間を的確に観察、把握して表現することができる  ・主体的に学習に取り組む態度 教員の話をしっかり聞いている。内容を理解している 技術の向上を目指し努力する姿勢がみられる 期限内に作品を丁寧に仕上げ完成させられる	2
5月	色彩の基礎 平塗りの練習 平面構成 色彩構成	・平塗りの練習 ・幾何形体の平面構成 ・アイデアスケッチ ・下描き ・マスキング ・平面構成着彩		8
6月	平面構成 レタリング基礎	和文書体・欧文書体の基礎 レタリング練習		8
7月	平面構成 レタリング基礎	・文字のデザインと平面構成 ・レイアウト・構成の基本 ・平面構成着彩		4
8月			[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解・技能の向上 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況 5. 出席状況  等を総合的に考慮して評価を行う。	
9月	モチーフ構成 色彩構成	・モチーフの観察と表現 ・アイデア展開 ・モチーフ構成着彩		6
10月	モチーフ構成 色彩構成	・モチーフ構成着彩 ・仕上げ・作品講評		7
11月	デッサン	・鉛筆の削り方 ・基本形態の観察、形の取り方 ・パース、構図の取り方		8
12月	デッサン	・基本形態のデッサン ・調子の付け方 ・陰影表現		4
1月	デッサン	・組みモチーフデッサン ・構図の取り方 ・質感表現		4
2月	デッサン	・石膏デッサン		6
3月	デッサン	・石膏デッサン ・作品講評		4

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（ 工業・グラフィックアーツ ） 科目：（ グラフィックアーツB ）

単位数：（ 2 ）単位

対象：（ 第3学年グラフィックアーツ科 ）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ 色彩検定公式テキスト3級編 プリント ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス 色のはたらき 光と色について	年間を通して身につけるべき技術、知識について ・色はなぜ見えるのか ・光・電磁波・可視光・スペクトルについて	【評価の観点】 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、考査、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度	5
5月	光と色について	・光の反射、吸収、透過、分光、屈折、干渉、回折、散乱などの働きと色の見える仕組み ・眼の仕組み ・照明と色の見え方	【評価方法】 1. 学習に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 考査 4. 提出物状況 5. 出席状況	8
6月	色の表示（表色系）	・混色：加法混色、減法混色、混色の応用例 ・有彩色・無彩色 ・色の三属性：色相・明度・彩度	等を総合的に考慮して評価を行う。	8
7月	色の表示（表色系）	・純色・清色・中間色 ・色立体・表色系 ・PCCS色相、トーン		5
8月				
9月	色彩心理	・色の心理効果：寒色・暖色、進出・後退、膨張・収縮、硬い・やわらかい、軽い・重い、興奮・沈静、派手・地味 ・色の連想、象徴、イメージ ・色の視覚効果：対比・同化、色陰現象、残像、錯視		6
10月	色彩調和	・同一色相配色、隣接色相配色、類似色相配色、中差色相配色、対照色相配色、補色色相配色 ・同一トーン配色、類似トーン配色、対照トーン配色・色相とトーンの組み合わせ配色 ・アクセントカラー・セパレーション・グラデーション		6
11月	配色イメージ ファッションと色彩インテリアと色彩	・配色イメージ ・ファッションカラーコーディネート ・ベースカラー・アソートカラー・アクセントカラー ・ファッションの配色効果 ・インテリアカラーコーディネート ・インテリアの色の心理効果		8
12月	配色のテクニック	・2色配色・3色配色 ・ナチュラルハーモニー・コンプレックスハーモニー ・レピテーション		5
1月	グラフィックデザイン概論	・デザインの領域 ・グラフィックデザインの役割 ・グラフィックデザインの歴史		6
2月	グラフィックデザイン概論	・グラフィックデザインの仕事 ・デザイナー紹介		4
3月	まとめ	1年間のまとめ		5

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（ 工業・グラフィックアーツ ） 科目：（ グラフィックアーツ実習 ）

単位数：（ 4 ）単位

対象：（ 第3学年グラフィックアーツ科 ）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ プリント ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス 【Webサイトの制作】	ガイダンス Web概論「インターネットとWeb」 ○HTMLの基礎について ・タグの入力(HTML)について	〔評価の観点〕 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、調査、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度	8
5月	【Webサイトの制作】	○HTMLの基礎について ・タイトルの作成 ・文字の表示と画像の表示方法 ・リンクについて ・表の作り方 など	〔評価方法〕 1. 学習に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 考査 4. 提出物状況 5. 出席状況	10
6月	【Webサイトの制作】	○Webデザイン（コーディング） ・HTMLによるサイトの構築 ・スタイルシートについて ・Webによる課題制作	等を総合的に考慮して評価を行う。  ・知識・技能 デジタルカメラやPCのアプリケーションソフトを適切に使用し、表現方法を工夫して、意図した通りに制作が進められる テーマ、コンセプトに沿ってアイデア展開ができていく デジタルカメラやPCのアプリケーションソフトの扱い方を理解し、作品制作においてレイアウト、色彩、表現方法等を自分の意図した通りに表現する力がある	16
7月	【Webサイトの制作】	○Webデザイン（コーディング） ・CSSについて ・Web課題の制作 ・小テスト ・企画書兼レポートの提出	・思考・判断・表現 作品の趣旨を理解している テーマ、コンセプトが適切である	6
8月			表現方法を工夫し、自らの意図通りに制作が進められる  ・主体的に学習に取り組む態度 教員の話をしっかり聞いている 課題に関する基本的な説明を理解している 技術の向上を目指し努力する姿勢がみられる 自ら率先して考え、制作する努力がみられる 期限内に作品を丁寧に仕上げ完成させられる	
9月	【ストップモーションアニメーション制作】	・アニメーションアイデア検討 ・企画書作成 ・絵コンテ作成		12
10月	【ストップモーションアニメーション制作】	・ストップモーション撮影作業		12
11月	【ストップモーションアニメーション制作】	・アニメーション編集作業 ・まとめ		19
12月	【マップ制作】	・コンセプトシート制作 ・アイデアスケッチ ・フォトショップによる画像処理		6
1月	【マップ制作】	・フォトショップによる画像処理 ・イラストレーターによる地図制作		14
2月	【マップ制作】	・イラストレーターによる地図制作 ・イラストレーターにてマップ・写真画像・テキスト等のレイアウト調整		12
3月	【マップ制作】	・データ印刷、提出		4

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（ 工業・グラフィックアーツ ） 科目：（ グラフィックアーツ製図 ）

単位数：（ 3 ） 単位

対象：（ 第3学年グラフィックアーツ科 ）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ 書体サンプル集 プリント ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス 課題概要説明 課題①人工物をモチーフとしたイラストレーション (アート表現) 課題②タイポとイラストレーション (アート・デザイン)	年間課題説明 年間を通して身につけるべき技術、知識について ・デッサン基礎：モチーフの靴をよく観察し、鉛筆デッサンする。	[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、主体的な作業の取り組み、基本的な技術の習得、課題の提出状況、作品の完成度などを総合的に判断し、3観点により評価をする  ・知識・技能 美しい構図、配色について理解し表現する力がある 道具、画材について基礎的な知識を持ち、正しく使用することができる 描写力や表現力が身につけている	4
5月	人工物をモチーフとしたイラストレーション 【テーマ：靴】	・モチーフの靴を様々な方向から観察し、多角的にスケッチする。 靴の基本的な形、構造、素材感等を理解し、表現する。 ・アイデア検討：モチーフである靴から連想する様々なイメージをアイデアスケッチする。	・思考・判断・表現 表現方法を工夫し、自らの意図通りに制作が進められる 自らの作品についての確にプレゼンテーションできる	15
6月	人工物をモチーフとしたイラストレーション 【テーマ：靴】	・表現方法の検討：画材の特徴を踏まえて様々な表現技法を試し、イラストレーションに活かせる表現を模索する。 ・レイアウト検討：アイデアスケッチをもとにイラストレーションの構図、表現方法をさらに検討する。美しい構図について理解し創造する力を身につける。	・主体的に学習に取り組む態度 教員の話をしっかり聞いている。 内容を理解している 技術の向上を目指し努力する姿勢がみられる 自ら率先して考え、主体的に制作する努力がみられる 期限内に作品を丁寧に仕上げ完成させられる	10
7月	人工物をモチーフとしたイラストレーション 【テーマ：靴】	・カンパ作成：決定した構図をもとに実寸大の大きさの下書きを作成し細部を検討する。 ・靴のイラストレーション下書き 決定したレイアウトをイラストボードに下書きする。 ・靴のイラストレーション着色		4
8月			[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解・技能の向上 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況 5. 出席状況  等を総合的に考慮して評価を行う	
9月	人工物をモチーフとしたイラストレーション 【テーマ：靴】	・靴のイラストレーション着色 ・靴のイラストレーション完成・講評		8
10月	レタリング タイポグラフィ	・レタリング：和文書体 ひらがな、カタカナ、漢字の文字の構造を知り、明朝体、ゴシック体の文字デザインを行う ・レタリング：欧文書体 代表的な欧文書体の特徴を踏まえて文字デザインを行う。		12
11月	レタリング タイポグラフィ	・レタリングと文字組み・カーニングのしくみの理解と実技問題 ・カレンダーを題材に文字のデザインを行う		11
12月	イラストレーション 【カレンダーの制作】	・カレンダーを題材に文字のデザインを行う ・カレンダーに載せるイラストレーションを表現技法・タッチを工夫してアイデアスケッチにより展開する		4
1月	イラストレーション 【カレンダーの制作】	・カレンダーに載せるイラストレーションを表現技法・タッチを工夫して描く		10
2月	イラストレーション 【カレンダーの制作】	・文字デザインとイラストレーションをレイアウトしてカレンダーの形を作る		9
3月	イラストレーション 【カレンダーの制作】	・カレンダー完成 ・プレゼンテーション ・1年間のまとめ 講評		3

教科：（ 工業・グラフィックアーツ ） 科目：（ 版画実習 ）

単位数：（2）単位

対象：（第3学年 グラフィックアーツ科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス	・授業の予定 ・各課題の理解	[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、 考査、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度	4
5月	パート1 【木版2版2色刷りの制作】	・木版画2版2色刷りの理解 ・原画作成	[評価方法] 1. 学習に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 考査 4. 提出物状況 5. 出席状況	6
6月	パート1 【木版2版2色刷りの制作】	・木版に原画の転写 ・彫刻刀の使い方の理解 ・転写した原画通りに凸版形式に彫る ・原画に色分け	等を総合的に考慮して評価を行う。  ・知識・技能 各版画技法を理解し、表現方法を工夫して、意図した通りに制作が進められる 描写力や表現力が身につけている	8
7月	パート1 【木版2版2色刷りの制作】	・色分けした原画を基に一色ずつインクをのせて紙をのせて馬簾でこすって一色ずつ印刷する ・プレゼンテーション	・思考・判断・表現 作品の趣旨を理解している表現方法を工夫し、自らの意図通りに制作が進められる 各版画技法の特徴や制作方法を理解し、適切に表現する力がある	4
8月			・主体的に学習に取り組む態度 教員の話をしっかり聞いている。内容を理解している 技術の向上を目指し努力する姿勢がみられる 自ら率先して考え、制作する努力がみられる 期限内に作品を丁寧に仕上げ完成させられる	
9月	パート2 【シルクスクリーン】 ①エスキース	・スクリーン版画の版式を理解させる。 ・スクリーン版画の特性について理解させ、エスキースを描かせる。		4
10月	パート2 【シルクスクリーン】 ②フィルムカットによる製版 ③紗貼り	・写真製版法について理解させ、フィルム製版技法を身につけさせる。		8
11月	パート2 【シルクスクリーン】④ジアソ感光乳剤の塗布 ⑤刷版製版	ジアソ感光乳剤の制作と塗布と焼き枠による刷版製版の技法を身につけさせる。		10
12月	パート2 【シルクスクリーン】⑥印刷  パート3 【上製本】 課題説明	・印刷におけるインクの厚さのコントロール技法についての理解と習得。  ・課題について理解する		4
1月	パート3 【上製本】 ①表紙の作成	・表紙のデザインのためのアイデアスケッチを描かせ、表紙のデザインを考えさせる。		6
2月	パート3 【上製本】 ②文字のデザイン	・表紙に合わせた文字のデザインを考える ・ガラス絵のデザインを考える		6
3月	パート3 【上製本】 ③口絵のデザイン ④本文の作成 ⑤上製本の作成	・活版印刷で口絵をデザインする ・本文の紙の準備、紙の折り方、針穴のあけかた、糸綴じの技法等を習得させ、上製本を完成させる。		4

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（ 工業・グラフィックアーツ ） 科目：（ グラフィックアーツⅡ ）

単位数：（ 1 ）単位

対象：（ 第 4 学年グラフィックアーツ科 ）

教科担当者：

使用教科書：（ デザイン史 ）

使用教材：（ ICT機器 プリント プロジェクター ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス デザイン応用について デザイン史について	年間授業 説明 デザインについて	・授業の内容を理解し、自分の表現につなげることができているか  授業の欠席、遅刻の状況  毎時間の課題プリントに対し、取り組み、期限内に提出しているか	1
5月	デザインで生きること デザインの選択肢 講評とは (デザインと自身の存在)	・デザインと生き方について考える ・大学の動画による思考 ・クリエイターズ (現場の仕事を知る)	プリントの内容から授業内の知識が身に付き理解できているか	3
6月	デザインとは いいデザインとは	・作る側、相手側について ・プレゼンテーションについて ・クリエイターズ (現場の仕事を知る)		5
7月	デザイン課題	・コンペ式課題 ・クリエイターズ (現場の仕事を知る)		2
8月				
9月	近代のデザインⅡ	アール・ヌーヴォー ・工芸と装飾 ・ユーゲントシュティル・分離派 ・ドイツ工作連盟 ・アール・ヌーヴォー期のグラフィックデザイン		3
10月	近代のデザインⅢ  近代のデザインⅢ	アール・デコ ・ルネ・ラリック ・アメリカのインダストリアルデザイン  モダニズムのデザイン ・バウハウス、デ・ステイル、ル・コルビジエ、フランクロイド・ライト		2
11月	第二次世界大戦後	インテリア・プロダクトの展開 ・ミッドセンチュリーデザイン ・北欧のデザイン ・日本の民芸 戦後の様々なデザイン ・ポップとサイケデリック ・プラスチックのデザイン		3
12月	日本のデザイン 海外の動き 企業の動き	・オリンピックと万博 ・デザインの巨匠 ・活躍しているデザイナー		3
1月	これからのクリエイティブ	様々なクリエイターズ		3
2月				
3月				

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（ 工業・グラフィックアーツ ） 科目：（ グラフィックアーツ実習Ⅱ ）

単位数：（2）単位

対象：（ 第4学年 グラフィックアーツ科 ）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス パート1 【木版2版2色刷りの制作】	・授業の予定 ・各課題の理解 ・木版画2版2色刷りの理解 ・原画作成	●関心・意欲・態度 教員の話をしっかり聞いている。内容を理解している技術の向上を目指し努力する姿勢がみられる 自ら率先して考え、制作する努力がみられる 期限内に作品を丁寧に仕上げ完成させられる  ●思考力・判断力 作品の趣旨を理解している表現方法を工夫し、自らの意図通りに制作が進められる  ●技能・表現 各版画技法を理解し、表現方法を工夫して、意図した通りに制作が進められる 描写力や表現力が身についている  ●知識・理解 各版画技法の特徴や制作方法を理解し、適切に表現する力がある	5
5月	パート1 【木版2版2色刷りの制作】	・木版画2版2色刷りの理解 ・原画作成		8
6月	パート1 【木版2版2色刷りの制作】	・木版に原画の転写 ・彫刻刀の使い方の理解 ・転写した原画通りに凸版形式に彫る ・原画に色分け ・色分けした原画を基に一色ずつインクをのせて紙をのせて馬簾でこすって一色ずつ印刷する ・プレゼンテーション		8
7月	パート2 【シルクスクリーン】 ①エスキース ②フィルムカッティングによる製版 ③紗貼り	・スクリーン版画の版式を理解させる。 ・スクリーン版画の特性について理解させ、エスキースを描かせる。 ・写真製版法について理解させ、フィルム製版技法を身につけさせる。		4
8月				
9月	パート2 【シルクスクリーン】④ジアゾ感光乳剤の塗布 ⑤刷版製版	ジアゾ感光乳剤の制作と塗布と焼き枠による刷版製版の技法を身につけさせる。		6
10月	パート2 【シルクスクリーン】⑥印刷  パート3 【上製本】 課題説明	・印刷におけるインクの厚さのコントロール技法についての理解と習得。  ・課題について理解する		8
11月	パート3 【上製本】 ①表紙の作成	・表紙のデザインのためのアイデアスケッチを描かせ、表紙のデザインを考えさせる。		10
12月	パート3 【上製本】 ②文字のデザイン	・表紙に合わせた文字のデザインを考える ・ガラス絵のデザインを考える		4
1月	パート3 【上製本】 ③口絵のデザイン ④本文の作成 ⑤上製本の作成	・活版印刷で口絵をデザインする ・本文の紙の準備、紙の折り方、針穴のあけかた、糸綴じの技法等を習得させ、上製本を完成させる。		6
2月				
3月				

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（工業・グラフィックアート） 科目：（グラフィックアート製図）

単位数：（2）単位

対象：（第4学年グラフィックアート科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（プリント）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス 課題概要説明  前年度まで製図の振り返りと講評、意見交換	年間課題説明 年間を通して身につけるべき技術、知識について	【評価方法】 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解・技能の向上 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況 5. 出席状況  美しい構図、配色について理解し表現する力がある 道具、画材について基礎的な知識を持ち、正しく使用することができる 描写力や表現力が身につけている	4
5月	グラフィックアートの魅力をグラフィックデザインで伝える	・グラフィックアートの特長や魅力を掘り下げる ・ターゲットについて考え、訴求ポイントを検討する ・アイデアを出し構想を練る	ターゲットや目的に応じてデザインを検討し、訴求力のある提案ができる 表現方法を工夫し、自らの意図通りに制作が進められる 自らの作品についての確にプレゼンテーションできる	2
6月	グラフィックアートの魅力をグラフィックデザインで伝える	・企画書作成 ・アイデアスケッチ ・下書き	教員の話をしっかり聞いている。内容を理解している 技術の向上を目指し努力する姿勢がみられる 自ら率先して考え、主体的に制作する努力がみられる 期限内に作品を丁寧に仕上げ完成させられる	6
7月	グラフィックアートの魅力をグラフィックデザインで伝える	・グラフィック制作 ・出来具合の確認		4
8月				
9月	グラフィックアートの魅力をグラフィックデザインで伝える	・グラフィック修正 ・グラフィック完成 ・プレゼンテーション・振り返り		6
10月	ギフトパッケージデザイン	・ギフト商品企画・商品リサーチ ・ギフト商品のプレゼンテーション ・パッケージデザインリサーチ		6
11月	ギフトパッケージデザイン	・パッケージのアイデア検討 ・パッケージの試作		8
12月	ギフトパッケージデザイン	・パッケージの展開図作図 ・商品ロゴ・ブランドロゴデザイン ・パッケージのグラフィック制作		4
1月	ギフトパッケージデザイン	・パッケージのグラフィック制作 ・出力・組み立て ・プレゼンテーション・振り返り		6
2月				
3月				

東京都立 工芸高等学校 定時制課程 令和 6 年度 年間授業計画

教科：（ 工業・グラフィックアーツ ） 科目：（ 課題研究 ）

単位数：（ 4 ） 単位

対象：（ 第 4 学年グラフィックアーツ科 ）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ プリント ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス 【映像表現】	ガイダンス ・映像とアニメーションについて	①授業態度、理解力、集中力、制作意欲、努力、アイデア、技能の表現（作り込み具合と作品の完成度など）・プリント確認、巡回&観察またはパソコン画面上  ②関心・意欲・態度 企画書、レポート、課題作品、ワークシート、プレゼンテーションを実施して、説明能力や作品の客観的評価力を養うこと・作品表現力および説明能力、作品評価力、態度など  ③課題提出状況 出席状況を総合的に判断し評価する。	6
5月	【映像表現】	・テーマ検討 ・リサーチ、デザイン企画 ・アイデア展開		12
6月	【映像表現】	・映像又はアニメーション制作		8
7月	【グラフィックデザイン】	・テーマ検討 ・リサーチ、デザイン企画 ・アイデア展開・ブレインストーミング		4
8月				
9月	【グラフィックデザイン】	・グラフィック制作 ・グラフィック展開		6
10月	【グラフィック表現】	・テーマ検討 ・リサーチ、デザイン企画 ・アイデア展開・ブレインストーミング		8
11月	【グラフィック表現】	・グラフィック制作 ・グラフィック展開		12
12月	全パート プレゼン制作	・プレゼンボード作成や資料まとめ ・プレゼンスライドの作成		14
1月	全パート プレゼン準備 卒業制作発表会	・プレゼンの仕上げ作業、練習 ・プレゼンテーション本番		4
2月				
3月				